

# 調布「憲法ひろば」

WEB サイト <http://www.geocities.jp/chofu9jou/index.html>

第23号

8月19日  
2006年

発行: 憲法「九条の会」調布のひろば

〒182-8511 調布市国領町 2-5-15  
あくろす2階 市民活動支援センター内  
メールボックス6番  
FAX 番号: 0424-83-1566 大野氣付

E-Mail: [chofu9jou@yahoo.co.jp](mailto:chofu9jou@yahoo.co.jp)

## 51人参加で白熱の合宿討論

第十七回「憲法ひろば」は八月十二〜十三日、「合宿」と銘打って、八王子・野猿峠の「大学習セミナーハウス」で開催。日帰り参加者も含めて五十一人が参加しました。

国分寺在住、「九条の会」事務局の渡辺治さん（一橋大学教授、写真）が「改憲策動のねらいと現段階...自民党新憲法草案から国民投票法へ」と題して講演。国民的な反撃の底力と到達点、課題と展望を語り、会場を質疑を含め二時間を超える熱い討論に引き込みました。

# 渡辺治さんとともに考えました

## 調布のまちで過半数の運動をどうつくるか?

### 自衛隊合憲と思想している人も一緒に

### 戦争する軍隊は認めない立場で

渡辺さんは改憲論の最近の二つの言説を紹介し、これを具体的に検証しました。

#### 現実と合わない?

「現実とずれているから変えるべき」との説は憲法を誤って捉えています。「現実を変えて理想に近づけようとするのが憲法」なのに、理想の方を書き換えるのは愚かしいと指摘します。

#### 北が攻めてくる?

「改憲しないと北朝鮮に攻められる、中国にバカにされる」との説は現実を正確に捉えていない。「北朝鮮の国力は日本の二六〇分の一、国家

財政の規模は足立区のみ。海を越えた日本に戦争を仕掛ける能力や意志があると思いませんか?。政府も正式に「脅威」と認めたことではなく、「九条を変えない限り攻撃を受ける危険性はない」と。

#### 憲法を役に立たせるのは私たち自身

「憲法は、神棚に置いて、唱和しても役に立たせるのは、理想に向けて現実を変える運動、改憲を許さずこれを活かす国民の運動です」。期せずして共感の拍手が起りました。

# 調布「憲法ひろば」



最後に渡辺さんは「九条改憲を許さない五つの提言」を強調しました。

①運動の蓄積に確信を、②日本が「殴る側の国」であることの自覚を、③国民の過半数が立ち上がる運動を（自衛隊の合憲・違憲でなく戦争する軍隊を認めない一致点で）、④社会保障切捨てと貧困・格差に反対する運動と一緒に、⑤「九条の会」を広げよう。

### ● 調布「憲法ひろば」 ●

## 9月例会のご案内

9月23日(土) 18時半〜  
＜今回のテーマ＞

3周年集会(11月16日予定)を成功させるためにみんなの知恵を出し合おう

あくろす3階ホール

参加費: 300円

お誘い合わせておいでください

### ● その後のスケジュール ●

10月29日(日)13時半から

10月(第18回)例会

会場は「あくろす3階」

11月16日(木)18時半から

3周年集会(仮名)

会場は「くすのきホール」

とくに調布「憲法ひろば」が発足三年目を迎える年末に、多くの皆さんの知恵と力を集める実行委員会による集会を開くことを申し合わせました。第一回実行委員会は八月二十八日(月)十八時半から、あくろす2階で開催。どなたもご参加を!

写真左側: 司会の皆さん(左から深大寺東町の富永信哉さん、富永りかさん、布田の石川康子さん)。写真右側は熱心に話し合う参加者の皆さん。

